

ふくよか

地域で支える医療と介護

2026 | 夏号 ■ 長崎県病院企業団本部
■ 令和8年7月発行



南島原ひまわり畑(南島原市)

CONTENTS

- P1 ——— 企業長より
- P2 ——— 養成医辞令交付式・感謝状贈呈式
- P3 ——— 特集 | 令和7年度決算(速報)
- P4 ——— 新規採用職員研修
- P5 ——— 部門長研修
- P6 ——— 看護職員の確保・育成／令和8年度診療報酬改定の概要
- P7 ——— BREAK TIME

「ふくよか」の由来

医療人として患者さんに寄り添った会話が自然と出てくるような能力を付けて欲しいとの願いが込められています。

母と娘の肝臓外来

長崎県病院企業団企業長 八橋 弘

今日の肝臓外来に、年配の女性が年に一度の定期検査で訪れた。肝炎はすでに治癒しており、診療としては穏やかな経過を確かめるだけの時間である。いづれどおり診察を終え、来年の予約日を相談していたとき、彼女は「3月は忙しいので、1月か2月にしてください」と言った。

「年度末に忙しい」―その言葉に、私は少しだけ違和感を覚えた。現役で働いているご様子でもない。理由を尋ねると、彼女は穏やかに首を振り、「私ではなく、娘が忙しいのです」と答えた。

そこから話は、病気のことを離れて家族の話へと移っていった。夫はすでに病で他界し、子どもは娘が二人。長女は遠方に暮らし、今日付き添っている次女は別の病院で看護師として働いているという。年に一度のこの受診のために、次女は

休暇を取り、前日には母のもとへ戻る。そして診察日には、車で一時間かけて二人で病院までやって来る。検査結果を並んで確認し、「今年も大丈夫」と安心して帰る。それが、いつしか家族の習慣になっていた。

もう一つ、その日の大切な決まりごとがあるという。帰り道にどこかで食事をするのだそう。店を選ぶのは二人のさやかな楽しみで、支払いはいつも母親が受け持つ。

「これが、あの子へのお礼なのです」そう語る彼女は、少し照れたように笑った。

その日の結果は、次女から長女へと伝えられるという。離れて暮らす家族もまた、その報告によって同じ安心を分け合っているのだらう。診察室にはいないはずの長女の姿まで、ふとそこに重なるような気がした。

「とても幸せなご家庭ですね。娘さんだからこうして付き添ってくれる。息子さんだったら、なかなか外来までは来てくれないよ」そう伝えると、彼女は一瞬だけ言葉を受け止めるように黙り、やがて苦笑いを浮かべた。その表情には、単純な「幸せ」という言葉だけでは語り尽くせない、家族の長い時間の積み重なりがにじんでいた。

診察を終え、彼女が診察室を出ると、待っていた娘さんがすぐに立ち上がった。私は娘さんに、「お母さんは今年も大丈夫ですよ。せっかくですから、美味しいものをしっかり食べて帰ってください」と声をかけた。娘さんはほっとしたように頷き、母親の方を見て微笑んだ。

病気が治るということとは、単に数値が正常になることだけではない。誰かと時間をともにし、安心を確かめ合う。その積

み重ねのなかで、人は「治っている」ということを実感してゆくのもかもしれない。二人は病院をあとにし、いつものようにどこかの店で昼食をとるのだろう。そしてその日のうちに、遠くに暮らすもう一人の娘へと「今年も大丈夫だったよ」という報告が届く。

人は何を支えにして、困難な日々を越えてゆくのだろうか。ひとりで耐え、歩む人もいる。誰かと悲しみを分かち合い、安心をとともに喜びながら生きる人もいる。できることなら、人はひとりではなく、心を許せる誰かとともに生きてゆきたいのかもしれない。同じ夕映えを眺めながら。

肝臓外来とは、肝臓という臓器だけを診る場所ではない。患者の背後にある人生や家族の時間、その静かな支え合いまで含めて見つめる場所なのだと、今日あらためて感じた。



長崎県養成医師への辞令交付式

今年度から企業団病院等に医師として赴任する5名や、2年間の臨床研修を開始する25名に対して、3月23日に辞令交付を行いました。

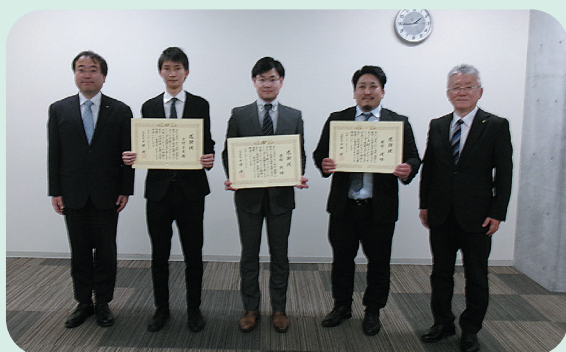
八橋企業長から一人ひとりに辞令が手渡されるとともに、出席者に対して、「どうか理念を胸に、地域に根ざし、周囲との信頼と感謝を積み重ねながら歩んでください。」と激励の言葉が贈られました。

新任医師及び臨床研修医の皆さんの今後のご活躍をお祈りしています。



～長年ありがとうございました(養成医退職者への感謝状贈呈式)～

3月27日に長崎県庁で「長崎県養成医退職者への感謝状贈呈式」が執り行われ、吉村正太先生、若松勲先生、栗寄健先生の3名が出席されました。



長年にわたり長崎県の離島・へき地等の保健・医療の向上にご尽力いただいた先生方に対し、長崎県の新田惇一福祉保健部長から感謝状を、病院企業団の八橋企業長から記念品を、それぞれ贈呈するとともに、感謝の言葉が伝えられました。

今回、都合が合わず欠席された先生方も含め、ご退職される長崎県養成医の皆様に対し、これまでの病院企業団への多大なご貢献に感謝申し上げますとともに、これからのますますのご活躍及びご多幸を祈念しております。

令和7年度決算(速報)

令和7年度の決算(速報)がまとまりましたのでお知らせします。人件費や物価の著しい上昇の中、企業団病院は離島や都市周辺部に所在しているため、人口減少や高齢化の急速な進行によって患者が減少するなど厳しい経営環境におかれています。

今後も職員が一丸となって更なる経営の改善のため、収益増や費用削減に取り組んでいきます。

(単位:億円)

区 分	R7決算	R6決算	増減比較
総 収 益	308.9	299.6	9.3
經常収益 ③	307.7	297.5	10.2
医業収益 ①	239.7	241.1	▲ 1.4
うち入院収益	147.1	148.6	▲ 1.5
うち外来収益	74.6	75.4	▲ 0.8
うち繰入金	6.6	5.5	1.1
医業外収益	67.5	56.4	11.1
うち繰入金	40.3	36.6	3.7
特別利益	1.1	2.1	▲ 1.0
総 費 用	332.4	325.6	6.8
經常費用 ④	330.6	324.6	6.0
医業費用 ②	316.0	309.5	6.5
うち給与費	182.1	174.8	7.3
うち材料費	52.8	55.5	▲ 2.7
うち経費	52.9	51.5	1.4
医業外費用	14.6	15.1	▲ 0.5
特別損失	1.8	1.0	0.8
医業損益 ①－②	▲ 76.2	▲ 68.4	▲ 7.8
經常損益 ③－④	▲ 22.8	▲ 27.0	4.2

※決算は税抜き(消費税の決算整理後)となっています

～企業団病院は地域医療に貢献しています～

令和8年度のDPC(診断群分類)の「機能評価係数Ⅱ」が公表されました。これは地域医療への貢献度合や救急患者の受入れ度合などを係数化して、客観的に評価できるようにしたものです。企業団病院の全国順位は下記のとおりで、全国でも比較的上位になっています。今後も郷診郷創(地域での受診が地域を創る)の取組とともに、地域から信頼され、必要とされる医療を提供します。

	機能強化係数Ⅱ + 救急補正係数	全国順位 (1,141病院中)
五島中央病院	0.1547	88位
上五島病院	0.1491	128位
壱岐病院	0.1397	191位
対馬病院	0.1384	202位
島原病院	0.1276	359位

令和8年度 新規採用職員研修

病院企業団の現況を知り、職員としての自覚や職員相互のコミュニケーションを図るため、新規採用職員研修を7月7～8日の2日間、長崎市伊王島町のホテルで実施しました。各病院から看護師、事務、公認心理師、臨床工学技士、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士、管理栄養士の計52名が参加しました。



1日目

① オリエンテーション



② 講義 「心理的安全性とコミュニケーション」 島原病院 松本 とよか 看護部長(認定看護管理者)

③ 講話 「新規採用者に期待するもの」 八橋 弘 企業長

④ 講話 「公務員としての心得・県病院企業団の概要」 馬場 秀喜 副企業長

※1日目終了後に、参加者全員で親睦会を実施

2日目

◆ オリエンテーリング 「ウォーキングスポット 映え7」

8グループに分かれて、チーム全員で協力しながらゴールを目指しました。



—— 今回の研修で学んだことを活かし、各病院企業団での活躍を期待します ——



業務
担当

班事務の総括、委員監査、
経営会議に関することなど



総務部企画経営班
隅田 葉子 課長補佐

本部転入職員紹介

今後、地域の医療機関との連携を二層深めるとともに、教育・研修の場としても魅力ある病院であり続けたいと考えておりますので、ご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。



おおいし やすし
壱岐病院 大西 康 院長

4月1日付けで壱岐病院院長を拝命しました大西康です。当院は、離島という環境にありながら、壱岐市における唯一の公的医療機関として、各診療科の連携のもと、日常診療から専門的な医療まで切れ目なく提供し患者さん一人ひとりに寄り添った医療の実現に努めております。

幹部職員紹介

業務
担当

本土地区の運営、
補助監査に関することなど



総務部企画経営班
山道 祐奈 主事

業務
担当

職員研修、職員採用、
修学資金に関することなど



総務部総務人事班
松本 佑子 主任主事

令和8年度 部門長研修

5月21日、22日に長崎市内において、企業団病院の看護師長、薬局長、技師長などの各部門の責任者、長崎県立こども医療福祉センターの職員の計26名が参加し、部門長研修を実施しました。

■研修の目的

部門長として、職務上の発揮することが求められるスキルと心構えを身につけるとともに、働きやすい職場環境づくりのための組織マネジメント力の向上、経営改善をさらに進めるための経営マネジメント力の強化を図る。

1日目

1 八橋弘企業長による挨拶

2 研修「部下育成と組織力強化研修（一部）」

～部下の成長を支援し、組織力を強化する～
①組織開発と人材育成、②組織の成長停滞を防ぐ、③目標達成の支援

小西 宏明氏（株式会社行政マネジメント研究所）

3 講義「働きやすい職場環境づくりについて」

馬場 秀喜 副企業長

2日目

1 研修「部下育成と組織力強化研修（II部）」

①部下の指導（OJT）、②行動目標の立案

小西 宏明氏

2 講義「経営改善の取組について」

河本 卓也 次長（兼島原病院事務部長）



小西 宏明氏



河本 卓也 次長

■研修後のレポート

今後研修で学んだコーチングスキルを取り入れた面談を実践し、スタッフが自ら考え、主体的に目標達成に向けて取り組めるようにして、スタッフの成長促進と病棟全体の業績向上の両立を図りたい。

今後は、職員の目標設定にも積極的に関与し、こまめなフィードバックを行うため、つながりを強化し組織力アップを図りたい。

スタッフの相互理解を深め心理的安全性を高めながら、チームの目標達成能力を最大化するチームビルディング手法の1on1面談で、職員の育成やモチベーション向上を行いたい。職員1人1人が主体的に業務に取り組むことができる職場環境づくりを実践していきたい。

部門長自身がコスト意識や業務効率化など経営的視点を強く持ち、それを日々の業務に落とし込んでいきたい。また、部門内の無駄の排除や稼働率の最適化といった具体的な課題を洗い出していきたい。

令和8年度 診療報酬改定の概要

今回の改定は、地域で支える医療への転換、多職種連携、地域連携体制の強化をさらに進める内容となっています。特に、生産人口の減少が進む中で、限られた医療資源で質の高い医療を提供するため、多職種が連携して患者支援を行う体制の評価が拡充されています。

1 改定の基本方針の4つの柱

- ① 物価や賃金、人手不足等の医療機関等を取りまく環境の変化への対応
- ② 2040年頃を見据えた医療機能の機能の分化・連携と地域における医療の確保、地域包括ケアシステムの推進
- ③ 安心・安全で質の高い医療の推進（医療DX・医療の質向上）
- ④ 効率化・適正化を通じた医療保険制度の安定性・持続可能性の向上

2 施行日

6月1日

3 改定率

+3.09%
（R8・R9年度の2年度平均）、
R8年度 +2.41%、
R9年度 +3.77%

看護職員の確保・育成

病院説明会への参加



活水女子大学セミナー
本部のブース来られた40名ほどの学生の皆さんには、医療技術修学資金や採用後キャリアアップのための各種制度について紹介しました。

4月18日に行われた活水女子大学看護学部
の「学内病院等合同セミナー」に各病院や本部
の職員が参加して、病院企業団の概要や各病院
の実情などを説明しました。参加された学生の
皆さんの真剣に耳を傾けている様子がとても印
象的でした。

看護師以外にも募集しております。
ご家族やお知り合いの方に
ぜひご紹介ください。

詳しくはこちら▶



診療看護師の 研修プログラム修了証授与式、交流会

3月30日に診療看護師(NP)の卒後研修プログラ
ム修了証授与式を行い、大学院修了後、上五島、対
馬、壱岐病院の各離島病院において実務研修期間
を修了され、診療看護師として活躍している4名の方
に対し、企業長より修了証書が授与されました。今後
とも皆さんの更なるご活躍を期待します。



診療看護師修了式

6月26日に令和8年度の診療看護師(NP)交流会
を開催しました。各企業団病院や長崎医療センター
で活躍されている8名の診療看護師のほか、長崎医
療センター高山隼人院長先生にもお越しいただき、プ
レゼンテーション形式で自病院での実践報告を行い、
報告事例について参加者全員で意見交換を行いました。
お互いの
現状や課題を
情報共有し、交
流を深める機
会となりました。



診療看護師交流会

4 主な変更点

① 物価対応料の新設

物価高騰に対する対応として新
設され、R9年度も増額される予定

② 医療DX関連加算の再編

従来の医療DX推進体制整備加
算・医療情報取得加算が廃止され、
電子的診療情報連携体制整備加算
が新設

③ 病院機能・病棟機能をより明確化 した入院料の再編

急性期一般入院料の再編(急性期
病院A・Bを新設)、手術などの病
院機能集約化に対応した急性期総
合体制加算の新設、高齢者救急等
を更に充実させる観点から包括期
充実体制加算の新設(一定の体制及
び実績を有する地域包括医療病棟
又は地域包括ケア病棟を対象)など

④ 多職種連携・チーム医療の推進

医師・看護師だけでなく、多職種
が協働して患者支援を行う体制を
重点的に評価するため、看護・多職
種協働加算(新設)、地域包括ケア
病棟リハビリテーション・栄養・口
腔連携加算(新設)、リハビリテー
ション・栄養・口腔連携体制加算の
要件見直しなど

⑤ 更なる生産年齢人口の減少への対応

ICT、AI、IoT等の利活用
の推進による人員削減への柔軟な
対応

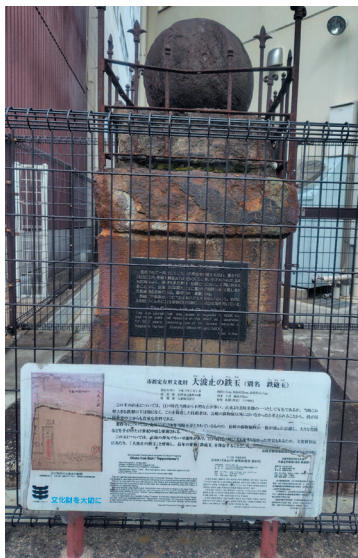


長崎の数にちなんだもの

毎日、病院企業団本部に隣接した商業施設正面にある長崎市指定文化財「大波止の鉄玉(別名 鉄砲玉)」の前を通るたびに、「長崎七不思議」を思い浮かべます。この鉄玉は、長崎の地名や名所の疑問を歌った民謡「長崎七不思議」の1つで、「寺もないのに大徳寺、平地なところ丸山と、古いお宮を若宮と、桜もないのに桜馬場、北にあるのを西山と、大波止に玉はあれども大砲なし、シャンと立った松の木を下(さが)り松とは」の「大波止に玉はあれども大砲なし」として歌われています。

このほかにも長崎には数にちなんだものがいくつかあり、それらを知ることで長崎の歴史の奥深さを再発見できると思います。今回はそのいくつかをご紹介します。

まずは「七高山巡り」、これは江戸時代から今も伝わっており、正月2日から15日ごろまでの間に、長崎市民が1年の無病息災や幸福を祈願して、いくつかの山を登ることです。7つとは金比羅山、七面山、烽火山、秋葉山、彦山、豊前坊、愛宕山で、豊前坊または愛宕山のかわりに岩屋山を登ることもあります。



大波止の鉄玉

海外交流にゆかりのあるものとして、中国関係では、日本初の唐寺と知られる黄檗宗の興福寺、福濟寺、崇福寺の「三福寺」。食卓にもよく並ぶ、インゲン豆の名前は1654年に渡来した黄檗宗の高僧である隠元禪師に由来し、中国から持ち込んだ豆を日本に広めたとされています。それまでの禅宗の主流であった曹洞宗、臨済宗に、新たに黄



BREAK TIME



檗宗が伝わると黄檗文化はまたたくまに全国に広まり、黄檗ものと呼ばれた書画や煎茶、普茶料理が大流行となり、当時のわが国の文化に大きな影響を与えました。書画では、黄檗僧の書は黄檗様と呼ばれ、隠元、木庵、即非の「黄檗の三筆」とされ珍重されました。江戸時代中期の画家として知られる伊藤若冲も、この頃長崎経由でもたらされた中国の南蘋風花鳥画などから強い影響を受け、緻密で鮮やかな画風を確立しています。

江戸時代の初期の蘭学の発展に貢献したのは、「出島三学者」と呼ばれたケンペル(ドイツ人)、ツェンペリー(スウェーデン人)、シーボルト(ドイツ人)でしたが、しだいにその教えを受けた阿蘭陀通詞が活躍、彼らは語学、医学、天文学、軍事学など各種のオランダ語の書物を翻訳紹介し、わが国の近代化に大きく貢献しました。

最後に文学から、明治40年8月の与謝野鉄幹、北原白秋、木下杢太郎、吉井勇、平野万里の「五足の靴」一行は長崎や草のキリシタン遺跡を訪ね、その紀行文は「東京二六新聞」に連載されるなど、その後の南蛮文学ブームの大きなきっかけをつくりました。

このほかにも数にちなんだものがいくつかありますが、今回はここまで。皆さんも身の周りで探されてみてはどうでしょうか。

最後に恒例の心に残った一言、ご存じの方もおられると思いますが、ロックバンドRADWIMPS『正解』という曲から、学校では「答えがある間ばかりを教わってきた」と、実際に生きていくうえで、本当に知りたいことは正解のない間ばかりだという現実を伝えていきます。最後にこの歌は人生そのものが試験のようなもので、制限時間や解答用紙、採点基準は「あなたのこれからの人生」と生き方を考えさせてくれる、とても素敵な曲です。

(文:副企業長 馬場秀喜)

編集後記

今年も夏がやってきました。ここ数年は猛暑が続いており、暑さに弱い私はこの時期が苦手ですが、夏は海や花火大会など楽しいイベントが多いので、毎年なんとか乗り切れています。みなさんも夏ならではの楽しみを見つけて、一緒に夏を乗り切りましょう!!

表紙写真提供:(一社)長崎県観光連盟

令和8年7月発行
編集・発行/長崎県病院企業団本部
〒850-0035 長崎市元船町17-1 長崎県大波止ビル7階
TEL.095-825-2255 FAX.095-828-4759
[E-mail] honbu@nagasaki-hosp-agency.or.jp
[URL] https://www.nagasaki-hosp-agency.or.jp
◎上記メールアドレスに記事についてのご意見・ご感想を どんどんお寄せください!

地域で支える医療と介護



長崎県病院企業団

検索

長崎県病院企業団
ホームページ

